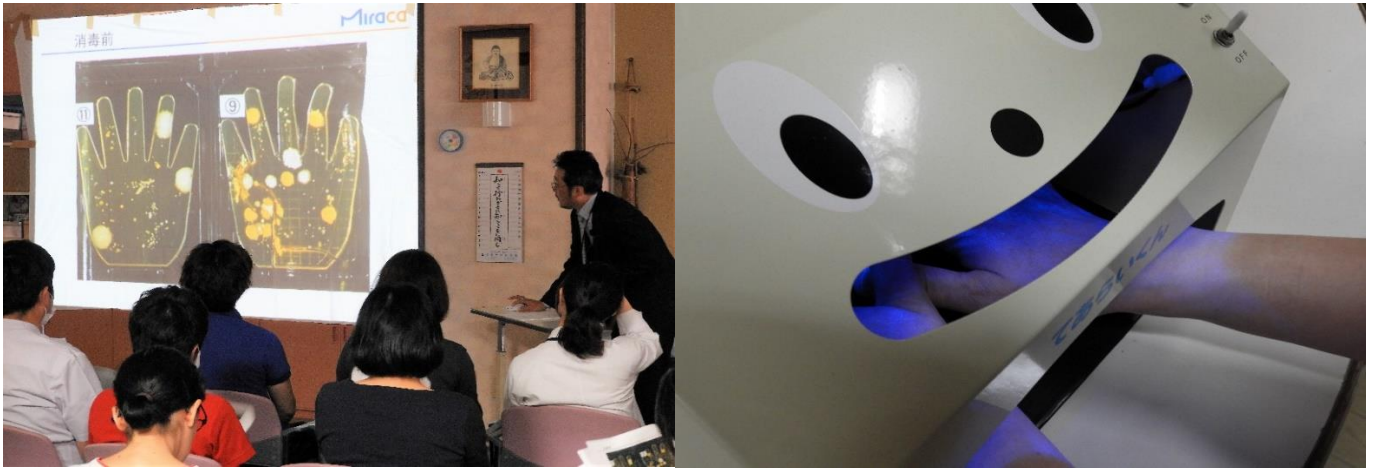


【2017年5月26日・30日】院内研修会開催



平成 29 年 5 月 26 日（金）・30 日（火）18 時より院内感染対策委員会主催による院内研修会を開催しました。今回は、株式会社 エスアールエル 九州検査課（細菌） 神代 英士先生と東田和子先生をお迎えして「感染対策」というテーマで手指衛生・アウトブレイクについてご講話いただきました。研修会の最後には新人職員対象に手洗いの実技指導を行いました。

〈参加者の感想〉

手指衛生については、事前に当院スタッフの消毒前後の手の培養検査の結果を見せていただき、目に見えて消毒前後での菌量の違いを知ることができました。確実な手指消毒を行うことで、起炎性が比較的に高い MRSA などの一過性細菌叢を排除できることを学びました。医療者の手指を介して院内感染がおこらない様に手指衛生の 5 のタイミングを実行したいと思いました。

院内感染のアウトブレイクでは、定義や発生事例を通して発生した場合の損失の大きさを知ることができました。100-1=0 最小率の法則、医療もサービス業、全体の水準は全体の一番低い水準のものに決定されてしまうので、私も医療の現場で働く者として、高い水準を目指し院内研修会で学んだことを活かしていきたいと思いました。

中材室・手術室

手に付着していた菌が多いのにびっくりした。付着していて良い菌というのがいるということを知り初めて知った。（今回は納豆菌？）手洗いで菌がすごく減るのが目に見えて分かった。

栄養科

手指消毒の大切さがわかりました。実際に手を洗い、特殊なライトをあてると洗い残りが目で見え分りビックリしました。毎日の手洗いに活かしていこうと思います。

放射線科